

ナイチンゲール アップデート

近代看護学の創始者フローレンス・ナイチンゲール。現代の日本でも、一般的な知名度も高く、また多くの看護学校の玄関には彼女の像が置かれているなど、広く看護師の代表として扱われています。

しかし、彼女は過去の著名な看護師というだけの存在ではありません。彼女は政治家であり、統計学者であり、教育者であり、社会の問題を見つめ、保健・医療・福祉の世界に新しい仕組み、概念を多く生み出した改革者でした。

彼女が生きた時代はほぼ1世紀前、確かに、社会情勢や環境は大きく変わりましたが、ナイチンゲールの思想や夢もまた、過去のものに過ぎないのでしょうか。

今特集では、ナイチンゲールをとらえ直し、アップデートすることで、現代の日本の私たちがナイチンゲールに学べることは何なのか、学ぶべきことはどこにあるのか、看護の源流から溢れてくる、なお汲みつくせない可能性について、改めて検討したいと思います。